

パンタナル通信

南北米福地開発協会 会報 2006年4月1日発行 第31号



飯野事務総長はじめテスト稲作で実った稲の刈り入れをしたボランティアと現地の作業員（刈り入れ後の記念写真）



自家製脱穀機



ボランティアに参加して。

幸運にも二月十七日から三月五日まで林先生と共に勤労奉仕をさせて頂き、感謝しております。この間、不足ながらも稲作などのテスト栽培を行なう事が出来ました。これからこの地が目的にあった開発が進行すれば、環境、エネルギー、食料問題解決への糸口が開かれるものと確信しております。世界的なモデルケースの地域に成り得る所だと思います。

特に中田先生の先を見たります。また、人材管理の上山先生、機械などの管理技術者の金子先生、エネルギー、通信、ITの第一人者小田先生、現地の方との交流、そして通訳を担当する三石先生、牛馬と会話の出来る大和田先生、皆、無駄な動きが無く、本当にバイタリチーに富んでおります。これは非常に大切な事だと私も見習っております。特に食糧問題に対しては、米、麦、そば。エネルギーに関してはエタノール燃料生産。そのためのサトウキビ、イモ類の生産及び現地の方の育成による原料調達システム開発など、楽しいものが沢山あり、希望の地、レダです。

吉澤忍記



パラグアイ川の朝焼け（飯野撮影）

2006.03.10



レダ奥地の支流の風景

2006.03.11



静かな支流の流れの中で白い鳥

03.11

朝焼けのパラグアイ河

三月9日の朝は、素晴らしい朝焼けに空も河も燃えました。残念ながらビデオを持って居なかった為、写真しか撮れませんでした。

神の彩なす創造の美は瞬間に顕れ、あつという間に消えて行くところに一段と感動が高まるのかもしれない。願わくばもう一度チャンスを与えたまえ。何としても皆に見せてあげたいパノラマです。

岸辺の白鳥

美しいお姫様のように岸辺に佇んでいました。まるで愛する人を待つて遠くを眺めているようでした。

支流奥地の岸辺。

夕方5時過ぎ、次第に落ちてくる寸前の夕陽に、水面がキラキラ輝いていました。水辺には様々な野鳥や動物がやってきます。

時折ワニも姿を見せてくれます。不思議と蚊がほとんどいませんでした。

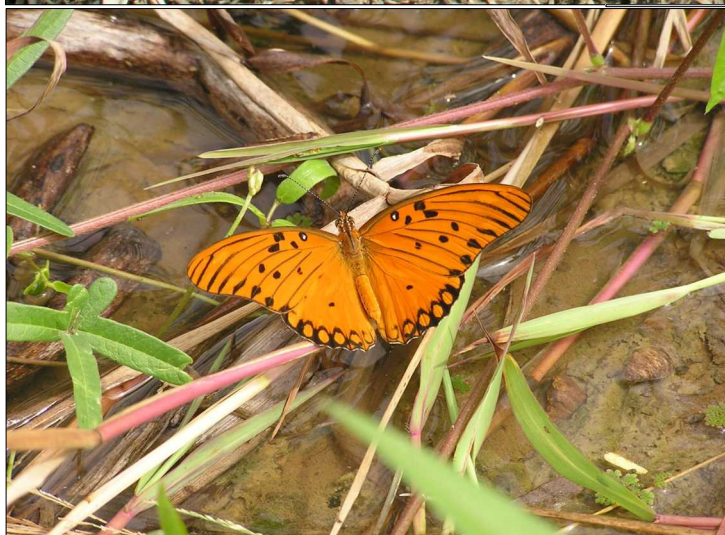
（飯野事務総長写真と記録）





ワニの卵とワニの子供(レダ基地の中で)

2006.03.03



南北米福地開発協会 事務局
〒二二二〇〇〇一
神奈川県川崎市高津区溝口三十一番十五
岩崎ビル四F
電話 〇四四一八二九二八二 Fax 八二九二八二〇
会費納入口座郵便口座 一〇一八〇一七七六八〇四七一

二〇〇六年度 環境セミナー
第二回 六月一八日 午前二〇時―午後五時まで
場所：南北米福地開発協会事務局
費用 三千元(昼食付き)
内容 地球温暖化と植樹の重要性、レダ開発について
第三回 九月一七日
第四回 二月一七日
第三回から四回の詳細は後ほど連絡します。



レダにいる昆虫達(小田氏撮影)